

ふれあい雪谷

平成15年
新年号



(笹丸 T. Kさんの作品)



母校の思い出 ⑪

～幻の分校 池雪小学校～

池雪小学校に戦後に分校(?)があったのをご存知であろうか。戦後の昭和21年4月、まだまだ教育界も混乱の中で、我々新一年生は校舎もなかった。今の東中公園の一隅に二階建ての古い建物があり、その一階部分の一室が一年生の教室(?)であった。先生の事務机は道路の向かい側にあった出張所の中に机が一つだった。

授業一組は男だけ、二組女だけ、三組男女共学、自分確か三組だったと思う。教室が一つなので8時～10時、10時～12時、1時～3時の三部授業。

運動場は前のバス道路(?)その道路で友達が三輪自動車に跳ねられ自分の前をマリのようにコロコロと転がって行ったのは今でも鮮明に思い出される。その後どうなったかは記憶に定かでない、今では大問題になってたことだろう。

その校舎(教室?)も我々の一年間だけ。今ではキレイな公園となり昔の面影は全然見当たらない幻の教室となってしまった。

二年になって本校舎へ、そしてその後、誰もその話もしない記憶の片隅から消えて無くなってしまった……

(石川台 前田 修一)



美しい環境づくり⑥

美しい環境についての偶感(後)

何時しか池上線やその沿線の開発と共に、地面に土が無くなっていき、コンクリート・アスファルトが目立つようになってきました。各川は暗きよになるにつれて、洗足池・雪谷・池上・馬込各地区の森が林がそして丘陵一帯の田んぼ、畑が姿を消してきました。何時のまにか、土地は住宅・工場に区画整理され、車両道路・鉄道等の開発も拍車をかけてきました。雪谷・小池から馬込・池上にかけて丘陵のあちこちに見られた梅林や桜並木は本当にまばらになった感があります。

あの昆虫類や小魚たちは蛙の鳴き声と共に、一体何処に行ってしまったのでしょうか?

最近のニュースをにぎわしているのは、中国野菜、松茸の驚くべき農薬含有の問題です。山形県産の林檎もしかり、単にハエや虫を見ないから環境衛生が良いとは、喜び切れない何かがあるのではないのでしょうか?人間も自然も木も草も虫もみんな仲間です!共に支えあって生きる、「自然」の共同体です。汚染されている環境は、絶対に子孫たちに残してはならないと思います。環境の整備向上と自然保護・自然破壊防止とは、環境を考える車の両輪ではないかと思うのです。

国から地域社会へ、そして一人一人が“そのものに影響を与える周りの状態”への配慮と今一度見直していきたいと思います。

(小池 天田 正昭)

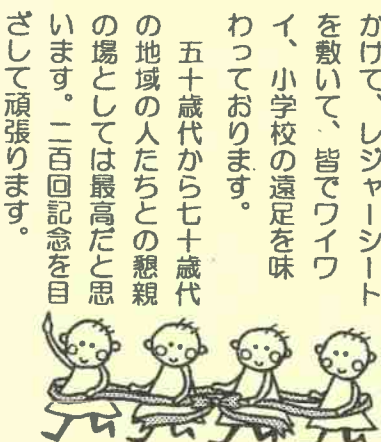
サークル紹介⑩

小池自治会・「文化部」

私共は昭和六十一年十月に、小池自治会の部活動の一つとして「文化部」を発足させて十七年。「ハイキング」「万歩会」「社会科見学」「講演会」と多彩な催しを年々八回行っておりま。

参加人数は少ない時は二十名位、多い時は六十名位、天候と目的地によって異なります。百二十回目を超えましたが、一度も同じ場所には行っておりません。有名な所だと人気が出ます。過去に好評だった場所は、昨年夏の「清里高原・天女山」で六十名を突破しました。他には「川越」「柴又水元公園」「大山」「高尾陣馬高原」等です。

五十歳代から七十歳代の地域の人たちの懇親の場としては最高だと思えます。二百回記念を目前として頑張ります。



(小池 瀬間)

私の健康法⑩

私もいよいよ古希を迎えました。「人生七十古来稀」中国の詩人杜甫の一節だそうですが、まったくオーバーな人です。今やわれわれの平均余命はほとんど延び、スポーツジムやフィットネスクラブと健康産業花盛りの時代を迎えました。



では、私の健康法ですが、紙と鉛筆をポケットに歩き易い靴をはいて俳句を作って歩くという事です。洗足池・多摩川・本門寺と句材に事欠くことはありません。それにもしろくなければ続かない、ナマクラ



ば続かない、ナマクラ

「編集後記」
新年おめでとうございます。
「ふれあい雪谷」創刊以来十三回目の新年号をお届けいたします。
昨年は政治・経済等にもいろいろ問題がありました。未年が地域の方々にとってよい年でありますよう心から願っています。
今年も皆さまからの原稿・俳句・挿し絵等をお寄せ下さい。お待ちしております。
(東中 直井)

〔発行〕わがまち大田雪谷地区推進委員会
〔編集〕ふれあい雪谷編集委員会
連絡先 雪谷特別出張所
大田区東雪谷四一三二二
電話 三七二九一五一一七
〔発行日〕平成十五年一月一日
通巻第四十九号

な私の場合特にそうです。

年を取って怖いのは「ポケ」と「ねたきり」でしょう。暇を見つけては早足で歩く。心を開いて何も考えずに、まわりのものを何でも楽しんでやろうと歩きます。その時、ふとひっかかるものがあつたらメモをする。家へ戻ったらメモした俳句の種をいろいろひねくりまわす。そうして出来たのが、私の俳句頭でも足でも使っていれば衰えない。そう信じて楽しく健康増進に努めております。

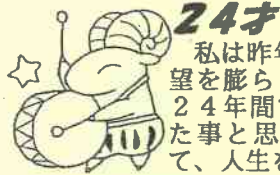
(笹丸 垂井 道夫)



年男年女 今年の抱負

12才

私は、今年中学一年生になります。中学校ではどんな勉強をするのか、どういう先輩がいるのか、今から楽しみです。
 そもう一つ楽しみなのが、小学4年生から続けているソフトテニスを中学でもやることです。テニス部に入って一生懸命練習をして、一日も早く試合に出られるように頑張りたいと思っています。
 (上池上 森井 美喜)



24才

私は昨年大学を卒業して、待望の社会人となり、夢・希望を膨らませる人生の一年生を頑張っております。同じ24年間でも国外に拉致された皆様方、大変ご苦労された事と思います。これからは大いに青春を取り戻されて、人生を楽しんでほしいと思います。
 (小池 M. N)

48才

毎日同じ日々を送っていても、前の干支から12年の時の流れは周りの状況を大きく変えました。
 私の身の回りでは、息子達が手を離れて家業の酒屋も一変しました。私は何も変わっていないのに...と、少しの焦りとむなしさがありました。でもここで一段落。これからは、手の届きそうな夢からかなえていかれたらと思います。
 (笹丸 直井 久枝)



60才

「光陰矢の如し」とはいうけれど還暦なんてまだまだ先の事と思いながら、あっという間にその時がきてしまい、ゆっくり趣味を楽しむ余裕などなかった。
 これを節目に少しは自分の時間が持てる様に、定年になった主人と共に旅行や好きなガーデニングで、四季折々の草花でも育てるゆとりある生活をしたい。
 それにはまず、自分自身をリフレッシュさせ家族共々の健康に留意したい。
 (東雪 永久保 トシ江)

72才

未年に因んで何かありませんか？とお呼びで、平成15年はどんな年になりそうか、考えようと思いましたが、その前に私の過去の未年はどうだったか、振替えてみます。

- 平成3年 定年の年でした。バブルの余韻が残り、バブルは庶民には直接無関係で、何とかなるだろうの時代。こんなに景気回復が遅れようとは。
- 昭和54年 ジャパン アズ ナンバーワン。バラ色の未来を見るところか、目先の仕事で精一杯、この頃から終電車によく付き合うようになりました。
- 昭和42年 昭和元禄。核家族化しきり。関東中心に工場建設に右往左往。
- 昭和30年 就職2年目。駐留軍撤退でがらんとした横浜。日本水産の社宅建設。月給13,800円手取り9100円。
- 昭和18年 運動場に一杯の児童。6年生が中心になって、教室のガラス窓に和紙を十字×点にはって、爆風対策に。卒業式の直前、初めての給食、みそ汁一杯。
- 昭和6年 渋谷で生を受ける。満州事変ぼっ発。これから15年戦争の始まり。

大体こんなものです。さて未来は？日本は大丈夫と思ひましよう。考えて、話し合っ、健康に注意して、こつこつ仕事をして、遊びに精一杯努力して。
 (東中 まだまだ頑張るふり人)

72才

子どもの頃、トンボ採りに走り回っていた頃の雪谷とは全く変わりました。この地域にお世話になり育った日々が懐かしく思います。
 良く変わった雪谷を思いつつ、失われたかに思える日本人の良い心や、風習を取り戻したいと考えて、前向きに健康に留意して生活して行こうと存じます。仕事も離れましたので少しずつこの地区のお役に立てばと思います。
 (南雪谷 西山 雅二)

84才

今の所に住んで50数年になります。娘たちも結婚し、現在一人暮らしですが、良い友達に恵まれ一応健康な生活を送っています。多少疲れることがあったり、検査を受けたりしていますが、特にどういったこともありません。
 園芸が好きなので、春になったら一層力を入れるつもりです。実のなる木が好きなので、リンゴ・ビワなど、せまい所で栽培しています。よかったです見に来て下さい。
 (希望ヶ丘 笹平 富枝)



成人式を迎えて

気がつけば、私ももう成人式を迎える年齢になってしまいました。しかし、成人になったという実感はなく、10代の頃と変わった事はこれといってありません。

今、私は大学で金属工芸を勉強しています。作業はとても難しく大変ですが、作品が出来上がった時の喜びはとて大きく、長い時間かけた甲斐があったと思えます。

これからの人生、不安な反面、楽しみでもあり、どうなるのか予想もつかないけれども、金属工芸は続けていけたらいいなと思います。
 (東雪 永久保 季恵)

★

★

★

二十歳になったら、自分の行動には責任を持って行動しなければいけない。言葉にすると簡単であるが、決して容易なことではない。「この程度のことなら許してもらえ」という甘えを捨てなければいけない。これは正直難しいが、私は一人の人間として、一人の大人として責任ある行動をしていこうと考えている。

ただ、他人を思う優しい心を持たなければいけない。

近年、不景気が続き人々の心に大きな影を落としている。そして、世界的にもテロ事件など悲惨なニュースが毎日続いていることは本当に悲しいことだ。

だからこそ、相手が悲しむ事をやってはいけないと感じる。相手に対して優しさを持つことができて本当の大人になるのだと思う。ただ見返りを求める優しさではなく、本当の優しさを持った人間になりたいと思う。



先行き就職やリストラなど様々な不安があり、順風満帆な明るい時代ではない。でも、気持ちを明るく持って逆境に負けないよう努力しますので、新成人を温かく見守って下さい。
 (希望ヶ丘 内田 寿一)

(希望ヶ丘 内田 寿一)

自治会リレー随筆

呑川とさかな

呑川で魚を見たことがありますか。久が原地区から下流側ではコイその他の魚が見られますが、中原街道から新幹線鉄橋間の雪谷地区では見たという話を聞いたことがありません。しかし上流側の東工大付近では今年ボラの稚魚をみてビデオをとった人がいますし、私自身島本橋付近を5cm大の魚(種類不明)がそ上しているのを見たことがあります。

新幹線鉄橋から道々橋まではうなぎがいます。ただ通常は泥にもぐっているのか余り見ることはできません。雨が降った後が見やすいようですが、道々橋の下流にせき上をしているところがあります。そこまではボラの稚魚が季節によってさかのぼってきています。道路からも見るができますし、その稚魚をねらってコサギがきています。通常コイの最上流地点は八幡橋です。ただボラの成魚は池上通りまででしょうか。

大田区環境保全課の毎年実施している呑川の魚調査によると平成8年8種から12年12種と年々ふえています。現在では次のとおりです。コイ、ゲンゴロウブナ、メダカ、ドジョウ、ナマズ、ボラ、マルタ、マハゼ、ウキゴリ、スズキ、ウナギ、金魚。

去年雪小4年生の総合学習で取上げた呑川の授業で、子供たちが実施した呑川に関するアンケートで期待する呑川像では100人中

35人が「自然が多い川になって欲しい」、32人が「つりや水遊びができる川になって欲しい」と直接魚を期待している回答が3分の2をしめています。

子供たちのためにも魚の豊かな呑川にしたいものです。
 (南雪谷 福井 南)



俳句

吹き晴れて 雲一つなし 寒の入り
 (希望ヶ丘 松川 五十五)

初釜や 花びら餅の 淡き紅
 (希望ヶ丘 横山 茶々)

松かさり 亡夫が打ちたる 釘にかけ
 (池の台 岡澄子)

短歌

初春の 陽光受けて つり堀の

鯉 飛び跳ねて しぶき輝く
 (小池 高橋)

